

平成30年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市中川地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

中川地域ケアプラザの担当圏域は、横浜市内で高齢化率が最も低い地域の一つとなっています（約14%）。しかしながら担当エリアの高齢化率は急速に増えており、新規相談件数や介護保険申請、予防ケアプラン扱い数も増えている現状もあります。

（29年度：1,250件、30年度：1,534件と284件増加）

新しいマンションや住宅も増え続けており、転入者が多いという特徴のある地域のため、ケアプラザの認知度は正直十分でなく、ケアプラザからの距離が離れるほど相談件数が少ないという傾向も見られます。

地域活動はNPOや各町内会自治会共に活動的ではあるが、担い手不足の声はどこでも聞かれます。

また中川地区の特徴として戸建を中心とした連合町内会とマンションを中心とした連合未加入マンションが、地区内で6：4くらいで混在しており住居環境の違いからか考え方も異なり共同が難しい現状があります。それは地区社協の組織形態の中では顕著に表れており、課題の一つと考えています。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

・障害児の親の居場所づくりに関しては、相談支援機関にも相談をしながら進めていきましたが、利用者からのニーズもなく、新たな居場所には繋がっておらず、居場所づくりだけではない支援の仕方について検討が必要かと思われます。

・いわゆる「呼び寄せ」やサービス付き高齢者向け住宅へ転入してくる高齢者が多いエリアです。こうした方々には、孤立を防ぐためのサロンやサークル等の案内も引き続き行っています。

(3) 各事業の連携

・一部老人会や横浜市通所型支援（中川地区ではスローカフェ）に定期的に参加し、状況や様子、人とのやり取りなど、地区別記録シートに記載し参加していない職員にも情報が届くよう努めています。また必要時にその内容を5職種会議や圏域カンファを利用し幅広く共有できるよう努めています。（記録していくことによって、どのように発展していったか経過が分かるようにしています。）

（シートはケアプラザ内の共有フォルダーに保存しており、誰でも確認できるようにしてあります）

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・定例としては毎朝の事務所内ミーティングや月1回の事業所内の部門長会議、圏域カンファレンスを実施し、情報や状況の共有化に努めています。
- また、その前段として今年度より所長・地域包括・地域交流・生活支援での5職種会議を月一回のペースで実施し、地域やケア会議等への意見交換をおこなってきました。
- ・職員研修に関しては、法人内と合わせ事業所内でも研修の年間予定を立案し、なるべくそれに沿って実施してきました（倫理、ハラスメント、個人情報保護、虐待防止、感染症対策など）
- ・ケアプラザ（特に対人援助職員）が公正中立な立場という点は職員研修等でも伝えており、事業所選びや病院紹介の際には、リストをお渡ししたり、情報を伝えたりし、その方がなるべく自己決定できるよう努めています。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・中川駅周辺の様々な分野の施設間での意見交換会や、メーリングリストに参加することで多ジャンルの方との顔つなぎができました。また定期的に参加できたことで情報交換や周知協力など行えています。
- ・地区社協が行う一人暮らし高齢者のつどいが29年度より地区センターからケアプラザに会場が変更になりました。より強い協力関係の構築を目指していきます。
- ・中川地区子育てネットワーク会議に参加し、情報共有・事務局機能を担っています。外遊びの協力など連携を取りながら行っています。
- ・30年度は、協議体の開催を視野に入れた「移動」を裏テーマにしたケア会議を開催しました。次年度、定期的な協議体を目指していきます。
- ・協議体を定期的で開催する為、地域課題を5職種で共有したり、地域住民、区社協や区役所とも連携し一丸となって問題解決を意識して取り組んでいます。取り組んだ結果を見える化していきます。
- ・保健活動推進員と健康チェックを開催しています。

(6) 区行政との協働

- ・第3期地域福祉保健計画を健康・子育てと分野ごとに推進できるよう、それぞれ打ち合わせを行いながら一緒に取り組んでいます。
- ・圏域カンファレンスには、包括職員だけでなく、所長や地域交流コーディネーター、生活支援コーディネーターも参加し、幅広く地域情報などを共有できるよう努めています。また、圏域カンファの流れを利用してカンファ後にケア会議の打ち合わせを行ってきました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・ 高齢者分野では、介護予防や閉じこもり防止となるような、気軽に参加できるサロン形式の講座を開催しました。(お茶のみサロン・うたのWA・健康麻雀など)。
- ・ 子ども分野の事業では定期的なお話し会の開催、学齡児向けの余暇支援事業、子育て支援者と共に外遊びの支援を行いました。
- ・ 既存のサークルをより活性化させインフォーマルサービスとしての活動が充実するよう、共催事業として講座を行い周知活動に努めました。実際に体験講座に参加された方は継続的なサークル活動に繋がっています。
- ・ 障害分野ではボランティアによる傾聴サロンを開催しました。サロンの利用が増える中、ケアプラザが障害の方にとって利用しやすい施設だと認識が上がり、障害の自主サークルが3つ増えました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・ 地域の福祉施設などへ登録団体をコーディネートし、各団体の活動の場を広げていきます。またリスト化し、より活動を選びやすい紹介を提案していきます。
- ・ 貸し館の空き情報をホームページや館内に掲示します。
- ・ 登録団体に向けた説明会や意見交換会、団体どうしの交流会を開催します。
- ・ 地域の方や団体に講師になっていただき、地域のための事業を実施します

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ 地域の関係機関や福祉保健活動団体と情報交換しながら、地域のボランティアニーズの収集・把握を行い、ボランティアを紹介しています。
- ・ 傾聴ボランティアグループの活動、子育て応援ボランティアの活動を支援していきます。
- ・ ボランティア感謝会や貸し館利用団体交流会等を通じて、ボランティア団体同士の交流を図ります。
- ・ 地域で福祉保健活動をされている方々や自主事業に参加された方に、新たな活躍の機会や場を提供していきます。
- ・ 小学校での見守りボランティアについて依頼を受け、事務局として声かけ、調整を行いました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・ 様々な地域情報や区、区社会福祉協議会からの情報などをとりまとめ、適宜情報発信をおこないます。
- ・ 参加者が求めている情報をキャッチし、案内できるために情報を把握しておくよう努めます。
- ・ アンケートを定期的に行って集計・分析し、ニーズに合った事業実施につなげます。
- ・ ボランティア活動の様子など、写真などを活用し視覚化して興味のある方へ伝えていきます。
- ・ 貸し館の利用団体交流会やボランティアの集い等を通じてエリア内の福祉保健団体相互の交流を深めます。
- ・ 地域のサークル情報閲覧ファイルをよりわかりやすく更新していきます。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・ 世代間交流カフェの後方支援を行っています。
- ・ 認知症予防カフェの運営に携わっています。
- ・ 中川東、ガーデンヒルズ、フォレストパークの老人会に参加し情報提供を行っています。
- ・ 地域活動交流と共催でお茶の講座やコーラスの講座を行っています。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・ どの町内会や老人会も担い手不足には悩まされている現状があります。ほとんどの町内会長や町内会役員も高齢化してきています。
- ・ 全てのマンションは把握できていませんが、どのマンションもサロンの活動はされています。活動主体はマンションによってまちまちですが、老人会のような組織が中心となっています。

(3) 連携・協議の場

- ・ NPO 法人ぐるっと緑道を中心に中川駅周辺の健康づくりに関する協議体を実施していく予定です。
- ・ 中川西の協力住民と共に配送マップを作成予定です。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

現在中川地区の高齢化率は低いですが、高齢化上昇率は市内1位です。一気に高齢化が進むことで、健康で暮らし続けられるように地域福祉保健計画でも掲げられているように「健康づくり」に力を入れていかなければならない状況です。自治会、町内会で健康づくりを推進していき、介護予防に力を入れていきます。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- ・ 総合相談として受けたケースは毎月1回、または随時包括内で共有し、困難なケースは相談し合い、適切に対応できるように努めました。
- ・ 月1回の圏域カンファレンスでは個別ケース検討の時間を設け情報を共有し、適切に対応できるようにしました。
- ・ インフォーマルリストや地域での活動のチラシを活用し、介護保険以外の情報も提供しました。
- ・ 各町内会への出前講座や自主事業の際には、地域包括支援センターが地域の総合相談窓口であることのPRをしています。

② 実態把握

- ・ 総合相談の統計データを基に、地区アセスメントを行っています。
- ・ 生活支援C〇と協力し、地域住民が活用できるインフォーマルリストを毎年更新しています。
- ・ 自主事業を実施する際はアンケートをとり、事業参加者の意見を次回の講座に活かしています。

③ 総合相談支援

- ・ 身近な相談窓口としての地域包括支援センターがある事を周知・広報するため、都筑区が作成した地域ケアプラザのパンフレットを講座や地域のイベントで配布しました。また、ケアプラザ新聞を配布し、講座などのご案内をしています。
- ・ ケアプラザから遠く、相談件数が少ない地区（大圃町や牛久保東3丁目付近）では月に1回認知症予防カフェを町内会・老人会の協力を頂きながら開催することでケアプラザの周知・広報に努めました。
- ・ インフォーマル情報を提供するため、生活支援コーディネーターと協働でインフォーマルリストを毎年更新し、ケアプラザに来館された方へ配布しています。
- ・ 月1回、包括内で包括ミーティングを開催し、総合相談のケースや新規のケースについて情報共有しています。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・ 地域住民向けに弁護士による個別相談会、税理士による講演会と個別相談会をそれぞれ1回開催しました。
- ・ 相続や成年後見制度に関する講座を実施し、地域住民への普及啓発に努めました。
- ・ 総合相談や介護予防支援にて、消費者被害のリスクが考えられるケースについては関係者、関係機関と連携し、課題解決に取り組みました。
- ・ 総合相談で、成年後見制度やあんしんセンターが必要と考えられるケースについては制度の紹介や申し立てについての助言、必要に応じて相談機関と連携し、支援を行いました。
- ・ 地域のサロンや地域ケアプラザでの講座を活用し、消費者被害予防の啓発を行いました。
- ・ 生活が困窮している方については社会福祉士が関わり、生活支援課の担当者につな

げ生活困窮者自立支援制度を活用し、支援を行いました。

② 高齢者虐待への対応

- ・ 毎月介護者のつどいを開催、介護している方、介護をされてきた方、介護に興味のある方を対象に、介護者の思いをお聴きし、介護から生じるストレス解消や介護に役立てられる知識をお伝えするミニ講座を行い、虐待防止になるよう事業を実施しました。
- ・ 虐待が疑われるケースについては、すぐに区役所に連絡相談を行い、連携しながら対応にあたりました。
- ・ 民生委員とも随時連携を取り、情報共有や対応にあたっています。

③ 認知症

- ・ 小学校や企業へ出向いての認知症サポーター養成講座を実施しました。
- ・ 自主事業で行っているサロン等に認知症の方が参加されている場合は、他の参加者にも協力いただきながらサポートを行っています。
- ・ 地域の方や介護サービス事業所、区社協と協力しながら認知症予防カフェの開催・運営を行いました。
- ・ 地域ケア会議で認知症の方のケースを取り上げる際は、会議参加者へ地域での認知症への理解が深まるよう協力を依頼しています。
- ・ 徘徊が心配される方にはSOSネットワークの紹介を行っています。
- ・ 年に1回、地域住民に認知症や認知症予防の基礎知識や理解が深まるよう、ケアプラザで中川地区認知症ミニフォーラムを開催しています。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ 地域包括支援センターの役割が民生委員の方々に周知され、個別のケースについての相談を受け、連携をとる例が増えてきました。
- ・ 自治会、老人会等からの要請を受け、出張での講座を行いました。
- ・ 地域の夏祭り、ひとり暮らし高齢者の食事会等に包括として参加しました
- ・ 地域密着型サービスの運営推進会議に7事業所29回参加しました。各事業所の状況把握ができるようになりました。また、地域の参加者とのつながりが相談や事業にも結びついています。
- ・ 中川地区民生委員とケアマネジャーとの交流会を開催し民生委員13名、ケアマネジャー5名の参加を得ました。お互いの活動の理解と顔の見える関係作りができました。
- ・ 葛が谷・加賀原包括と共催で都筑区内通所リハビリテーション事業所とケアマネジャーとの情報交換会を実施し、「都筑区の通所リハビリ アピールシート」を作成・配布しました。

② 医療・介護の連携推進支援

- ・葛が谷、加賀原、中川3地域包括共催でケアマネジャー向けの医療情報交換会を2回開催しました。
- ・「ケアマネジャー・病院関係者との情報交換会」今回、都筑ケアネットケアマネ部会と5包括共催で開催できました。つづきケアネットと包括との協力体制の前進になるかと思われます。事前に病院から情報収集し「ケアマネジャー・病院との連携シート」（冊子）を更新し配布しました。
- ・都筑区多職種連携協議会に参加し介護と医療の連携に取り組みました。
- ・病院とのつながりが深まり、相談件数の増加の要因となっています。

③ ケアマネジャー支援

- ・ケアネットつづきケアマネ部会の後方支援を行い、研修に協力しました。
- ・都筑区主任ケアマネジャー連絡会を運営に携わり主任ケアマネジャー向け研修「コーチング研修」（応用編）を開催しました。
- ・新任・就労予定ケアマネジャー研修を3日間の日程で開催しました。参加者のフォローアップを個別に行いました。
- ・月に1回、圏域・近隣の居宅介護支援事業所を訪問し、情報提供、相談援助を行いました。
- ・ケアマネサロンにおいて事例検討会を4回実施しました。中川包括での事例検討会のグラウンドルールを作成し、事例提供を中川地区の特定事業所（特定事業所加算算定事業所）に依頼しました。
- ・地域のケアマネジャーからの個別相談、担当者会議の参加に努めました。
- ・区内5包括と共催で、介護予防従事者研修を開催予定です。
- ・ケアマネジャーと地域交流コーディネーター・生活支援コーディネーターの交流会を5包括主マネ・一層生活支援コーディネーターと協力し行いました。

（4）多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・個別地域ケア会議を3回開催しました。共通のテーマは「地域の見守りパイプづくり」となり、1回目は中川駅近隣の薬局への事前アンケートから始め、声掛けした全薬局の参加を得、つながりが強まりました。2回目は「認知症高齢者の免許返納を例として」都筑警察署、町内会、民生委員 地域住民が参加し「お買い物マップ」づくりの機運が出ました。
- 3回目は「初期の認知症高齢者が地域の中で活動を続けるために」本人の活動場所のスポーツクラブ、地区センター、町内会館、サークル代表者、家族が集まり在宅医療相談室の協力で「認知症」について理解を深めつつ、緩い見守りで活動を続けてもらう意識が高まりました。
- 参加者はより多様になっています。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・包括職員とケアマネジャー向けに ICF の考え方を軸とした対象者理解とアセスメントについての研修を開催し、要支援者の生活環境に応じた目標のたてかた、介護予防の取り組みやプラン作成を実施できるよう支援しました。
- ・相談支援にあたっては、介護保険のサービスだけでなくインフォーマルリストを活用し、地域のサロンやケアプラザの自主事業などを紹介しました。プランの中でもインフォーマルサービスを位置付けるようにしました。
- ・毎月の圏域カンファレンスでは、困難ケースに関しての情報共有と援助方針の確認を行いました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・介護予防普及啓発事業を行った結果、ロコモ予防・認知症予防講座として行った体操教室が平成31年4月から自主サークルとして活動予定です。
 - ・元気づくりステーションの新規立ち上げはありませんでした。
 - ・講師の都合で急遽、休止になりそうだった元気づくりステーションがありましたが、区役所の人材育成講座を受講した方がボランティアで講師を引き受けてくださったため、継続できることになりました。現在は安定した運営ができています。
 - ・また、講師の体調不良もあり参加者が減少した元気づくりステーションがありましたが、4月から曜日を変更しプログラム内容を講師の負担の少ないものに変更することで継続することが出来ました。
 - ・基本チェックリストを活用して事業対象者になった方はいらっしゃいませんでしたが、インフォーマルリストを活用し情報提供などを行いました。
 - ・サービスBのスローカフェで仲良くなった方たちが、ケアプラザでのサークルや講座、元気づくりステーションに参加してくださるようになりました。
- 中川地区に新たに転入した方たちにも気軽に参加でき、介護予防事業に資するサービスとして、サービスBのスローカフェは有効と感じています。

5 その他

認知症予防カフェとして平成29年1月からスタートした「ふれあい大塚カフェ」も、2年が経過しました。町内会・老人会、民生委員、地域の介護保険事業所、ボランティアの方たちと連携し多職種で企画運営を行っています。毎月25日に開催し1回30名から40名くらいの方たちにご参加いただいています。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- ・ 外溝含め経年劣化による不具合などが目立ってきており、今後も定期的なメンテナンスが必要となってきました。複合施設のため、他の2法人や交通局と密に連携を取りながら必要なメンテナンスを行いました。
- ・ 不具合があればすぐに報告をあげ、修理を行うよう職員全体に周知しています。

(2) 効率的な運営への取組について

(法人での取組み)

- ・ 横浜市内に法人管理のケアプラザが7箇所あり、所長や地域包括支援事業、地域交流事業、通所介護事業、居宅介護支援事業など部門ごとに定期的な会議の場を設けており、情報交換や事業推進の方法、書式の統一等を図り、効率的な運営を行いました。

(プラザでの取組み)

- ・ 地域包括支援事業、地域活動交流事業、生活支援体制整備事業は5職種で定期的に会議の場を持ち、情報交換や合同で事業を行うなど効率的な事業展開を行いました。

(3) 苦情受付体制について

- ・ 苦情解決規程を定めており、ご利用者の満足度を高める事により事業の質の向上及び運営の信頼を高める事を目的とし、苦情受付担当者及び苦情解決責任者を置いて苦情解決に取り組みました。
- ・ 苦情解決のための第三者委員会を開催し、苦情に対する取組みについてのご意見を伺いました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 警備業務は業者に委託をしており、警報があった際は来館して状況確認してもらい記録に残しています。
- ・ 防災訓練を三法人合同で行い、消防設備関係の取り扱いについても研修を行い、緊急時に備えました。また上の法人で開催された救急に対する研修に職員も数名参加するようにしました。
- ・ 災害時特別避難場所としての災害時の備蓄物資を整備しました。
- ・ 行方不明者対応マニュアルにより緊急時の体制を整えました。

(5) 事故防止への取組について

- ・ ヒヤリハット、事故は毎月のリーダー会議の際にリーダー間で共有し、同様の事故が起きないように共有しています。
- ・ 法人内他事業所での事故は全施設にメールで共有できるようになっており、参考になると同時に自事業所での事故報告の際には他施設からの意見やアドバイスをもらっています。
- ・ 法人の内部監査での指摘は全施設で共有しており、事故防止につなげています。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 法人の「個人情報保護方針」、市の「横浜市個人情報保護に関する条例」に則った対応を行いました。
- ・ 職員採用時、委託業者、ボランティア活動をして下さる方に「個人情報保護に関する誓約書」を説明、署名いただき、守秘義務に努めました。
- ・ PCにはウイルス対策ソフトを入れ、パスワード保護し、USBメモリは使用禁止としています
- ・ 書類は鍵付きの書庫に収納。個人情報を含むファイルはサーバーに保管しています
- ・ FAXや郵便は必ず複数でダブルチェックし、内容と宛先を確認しています
- ・ 全職員に個人情報保護に関する研修を行いました。

(7) 情報公開への取組について

- 法人の「個人情報保護規程」に準じた対応を行いました。
- ・ 決算書、事業計画・報告書、契約書等は事務所で閲覧できるようにしています。
 - ・ アンケート結果はホームページや掲示でお知らせしています。

(8) 人権啓発への取組について

職員全体研修の際は人権擁護の視点から高齢者虐待防止の研修を行い、言葉遣いや身体拘束廃止への意識を高めるように努めています。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ・ 不要な電気は消し、エアコンは夏場は26℃弱設定、冬場も21℃弱設定で固定し節電に努めています。
- ・ 毎朝、ケアプラザ周囲の掃除、ゴミ拾い等を継続・徹底しています。
- ・ 横浜市の方針に則り、ゴミの分別を行い、職員一丸となり減量やリサイクルに努めました。
- ・ なるべく両面コピー集約コピー、白黒コピーを行うようにし、必要以上の紙使用は控えています。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

- ・保健師 1名（常勤・管理者と兼務）
- ・主任介護支援専門員 1名（常勤）
- ・社会福祉士 2名（常勤）
- ・介護支援専門員 1名（常勤）

《目標に対する成果等》

- ・給付管理件数は今年度合計 2690 件（約 235 件/月）となっています。昨年度の 2690 件と比べ 5～10 件/月程度増加しています。高齢化率は横浜市内でも低い地区のひとつですが、要支援者が非常に多いのが特徴です。
- ・包括職員とケアマネジャー向けに、ICFの考え方を軸とした対象者理解とアセスメントについての研修を開催し、支援者側も要支援者の環境に応じた介護予防の取り組みやプラン作成を実施できるよう支援しました。
- ・毎月の圏域カンファレンスにて困難ケースに関しての情報共有と援助方針の確認を行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

初回のご相談時に地域包括支援センターの職員が関わり、介護保険に結び付く場合は、早い段階から担当ケアマネジャーに確実に引き継ぎ、ケアマネジャーとの信頼関係を構築できるようにしました。また、介護保険の利用がない場合は、包括が継続的に関わりました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
228	232	234	230	230	233
10月	11月	12月	1月	2月	3月
233	242	241	243	238	235

●居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員 常勤 1 名 非常勤 2 名

《目標に対する成果等》

- ・介護保険のサービスだけでなく、ケアプラザで行っている自主事業やインフォーマルサービス等もプランに取り入れ、地域とのつながりを重視するプラン作成に取り組みました。
- ・地域包括支援センターや通所介護事業のスタッフとも常時連携を取り、きめ細かいプラン作成、P D C Aに基づくケアマネジメントに取り組みました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし

《その他（特徴的な取組、P R等）》

- ・この地域にお住まいの方が快適に笑顔で暮らせるよう、心を込めてお手伝いさせていただきます。
- ・地域包括支援センター、医療、地域、行政等との連携を強化し、支援困難ケースも積極的に受け入れ、対応していきます。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
61	63	67	65	67	65
10月	11月	12月	1月	2月	3月
67	68	67	66	65	72

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- 機能訓練（運動プログラム、歩行訓練、マシントレーニング）
- 個別趣味活動（料理、書道、絵手紙、手芸、ちぎり絵、囲碁、麻雀など）
- 口腔ケア ●音楽療法 ●入浴 ●お食事・おやつ

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 691円
 - （要介護2） 816円
 - （要介護3） 901円
 - （要介護4） 1,075円
 - （要介護5） 1,205円
- 食費負担 840円（おやつ105円込）
- レク材料費 実費相当

《事業実施日数》 週6日

《提供時間》 9:30 ~ 16:30

《職員体制》

生活相談員（兼務）2名 介護職員（兼務者あり）11名
 看護職員3名 機能訓練指導員 4名
 歯科衛生士 3名 介助員 4名

《目標に対する成果等》

個別の趣味活動や運動など充実したプログラムをご提供し、身体機能や生活機能の維持、脳の活性化を目指します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

各居宅介護支援事業所に定期的にあいさつ回りにいき、情報共有や伝達をしていくことで顔の見える関係性作りを実施している

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
474	515	499	494	515	486
10月	11月	12月	1月	2月	3月
526	499	454	459	451	471

● 第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- 機能訓練（運動プログラム、歩行訓練、マシントレーニング）
- 個別趣味活動（料理、書道、絵手紙、手芸、ちぎり絵、囲碁、麻雀など）
- 口腔ケア ●音楽療法 ●入浴 ●お食事・おやつ

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
（事業対象者） 円
（要支援1） 1,843 円/月
（要支援2） 3,775 円/月
- 食費負担 840 円（含 おやつ代105円）

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9：30 ～ 16：30

《職員体制》

生活相談員（兼務）2名 介護職員（兼務者あり）11名
看護職員3名 機能訓練指導員 4名
歯科衛生士 3名 介助員 4名

《目標に対する成果等》

個別の趣味活動や運動など充実したプログラムをご提供し、身体機能や生活機能の維持、脳の活性化を目指します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

各居宅介護支援事業所に定期的にあいさつ回りにいき、情報共有や伝達をしていくことで顔の見える関係性作りを実施している

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
102	106	98	103	93	78
10月	11月	12月	1月	2月	3月
86	84	80	71	64	69

平成30年度 自主事業報告書

資料4-1

横浜市中川地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
囲碁・将棋開放デー	趣味の囲碁や将棋を通じて、仲間づくりや世代間交流も図り、引きこもり気味になりやすい高齢者の介護予防や、普段利用の少ない男性の参加を目的として開催	実施時期 4月～3月 回数 年24回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
精神保健福祉サロンYou&Me	区内にお住まいの精神障がい者の方々が、地域で生き生きと暮らしていくために開催。活動支援をしているボランティアグループ「YOU&ME」との共催事業。	実施時期 4月～3月 回数 年12回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で楽しむお話しタンポポ	親子で一緒に楽しめるような場を地域のボランティアの方を中心にわらべうた・手遊び・絵本の読み聞かせなど提供していきます。	実施時期 4月～3月 回数 年12回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うたのWA	大きい声で歌うことにより心肺機能の低下を防止し、音楽を楽しむことで参加者どうしの交流をより一層深める事を目的として開催	実施時期 4月～3月 回数 年12回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なかなかサロン	地域の課題としてあげられていた「居場所」を求めるニーズに答えるため、サロンを開催。誰でも気軽に立ち寄れる交流の場を提供する 中川地区社会福祉協議会との共催事業	実施時期 4月～3月 回数 年34回実施 (出張10回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中川健康麻雀サロン	認知予防、とじこもり防止、地域の交流の場として健康麻雀を取り入れたサロンを提供する事を目的に開催 麻雀ボランティアグループ有志との共催事業	実施時期 4月～3月 回数 年12回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママと赤ちゃんのための健康講座	子育て中のママと赤ちゃんのための健康作りを目的とした育児支援事業。離乳食と体操の講座を行い楽しい子育ての手掛かりとしてもらう 都筑区役所 健康づくり係との共催事業	実施時期 4月・8月 ・12月 回数 年3回実施

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひかりがおか公園で遊ぼう！	中川地区で活動している子育て支援者と共に「外遊びを楽しめる親子」「友達と交流をもてる親子」の集う場として公園遊びを開催	実施時期 4月～3月 回数 年10回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	ケアプラザを利用している登録団体の参加者にむけて意識改革をしてもらえる一歩として開催。地域住民が趣味活動だけでなく支え合う意識をもってもらい、認知症への理解を深め、認知症の方に対して温かく見守りできるようになる事を目的に行う	実施時期 6月～9月 回数 年3回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気度チェック	中川地区保健活動推進員さんによる健康チェックをおこない、自分の体をよく知ることによって介護予防に努める。	実施時期 5月 回数 年1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
情報ラウンジ作品展	登録団体や地域の方の作品を情報ラウンジへ展示し、ラウンジでの空間をより楽しめるよう作品発表の場として提供している	実施時期 4月～3月 回数 年12回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
都筑区内中学校職業体験	福祉体験・職業体験の受け入れを行いケアプラザの役割・認知度向上を図るとともに、ボランティアの育成を図る	要望により随時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わが街の博識者新国劇は遠くなりけり	シニアの方は、ご自分が今まで培ってきた知識や経験に裏付けられた情報をたくさんお持ちである。ただそれを披露する機会がなかなかないのが現状である。この講座を通じて地域の交流の場となる事を目的に開催する。	実施時期 5月 回数 年1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康麻雀ボランティア会議	健康麻雀サロンが認知症予防、とじこもり防止、地域の交流の場として円滑に運営されるよう確認と方向性を検討する事を目的として開催	実施時期 5月 回数 年1回実施

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
集まれ都筑のニューフェイス	都筑区へ引っ越してきた親子のための集まりを開催し、情報交換や交流をして頂くことを目的とし開催 子育て支援拠点ポポラとの共催事業	実施時期 5月・10月 回数 年2回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハートdeボランティア	福祉体験・職業体験の受け入れを行いケアプラザの役割・認知度向上を図るとともに、ボランティアの育成を図る	実施時期 8月 回数 要望により随時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママとBabyヨガ	お母さんに子供と一緒にリフレッシュすることのできる「親子ヨガ」を体験してもらいリフレッシュと交流を図る	実施時期 9月 回数 年2回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
余暇支援事業 つるし雛を作ってみませんか？	地域の方を対象に、つるし雛サークルがボランティアとして指導に関わり作品を作り上げる。また各世代間交流のひとつの場とする事も目的として開催	実施時期 8月 回数 年1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
余暇支援事業 たこおじさんの不思議な工作	小学生の夏休み余暇支援事業の一環として、「なぜだろう？」「どうなってるの？」を刺激する工作教室を開催。遊びを通して物の仕組みに興味を持つきっかけを作る。	実施時期 8月 回数 年1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
余暇支援事業 和紙のちぎり絵に挑戦	夏の余暇支援事業の一環として夏らしくうちわにちぎり絵をワンポイントとなるよう作成していく	実施時期 8月 回数 年1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで楽しく絵を描こう！	小学生の夏休み余暇支援事業の一環として、また、絵を描く事を楽しんでもらうながら、地域の方とも交流してもらい親睦を深めることを目的として開催	実施時期 8月 回数 年1回実施

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中川まちなか将棋大会	子供から大人まで楽しめるゲームの一つとして、世代間交流を目的とし開催する	実施時期 8月・3月 回数 年2回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害児余暇支援事業 芝坊やを作ってみよう	障がい児を対象に園芸療法を取り入れたプログラムを実施することにより、その特性を活用し、障がい児のこころとからだのリハビリなどに役立つ。	実施時期 8月 回数 年1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
29年度中川子ども会情報交換会	第3期地域福祉計画推進の中、子供会の活動把握としてアンケート調査を実施。 その回答を受け情報交換会と称し意見交換を行う。	実施時期 6月～ 回数 年4回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てサポートシステム説明会	「子どもを預かって欲しい人」と「子どもを預かれる人」が会員として登録し、地域ぐるみで子育てを応援していく。より多くの興味ある方へ聴いて頂く為に、出張説明会を開催 子育て支援拠点ポポラとの共催事業	実施時期 8月 回数 年1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わが街の博識者狼信仰	シニアの方は、ご自分が今まで培ってきた知識や経験に裏付けられた情報をたくさんお持ちである。ただそれを披露する機会がなかなかないのが現状である。この講座を通じて地域の交流の場となる事を目的に開催する。	実施時期 9月・10月 回数 年2回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
父親育児支援講座 パパを楽しもう	子育てに父親の協力は不可欠であり、実際に共稼ぎ夫婦が多いエリアなので父親の育児に関する関心度も高くなっている。そんなわかいパパを対象に参加する機会を作り、地域での子育て情報共有や今後の担い手になるよう啓発をしていく事を目的に開催	実施時期 10月 回数 年2回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座 認知症サポーター養成講座 ～各町内会向け～	今後、高齢化していくにつれて地域の方も認知症の方と接する機会が増えてくるものと思われる。そのときに受容し適切な対応ができるように、企画。 *より多くの方が参加しやすいように、各町内会館へ出向いて開催という企画とした 牛久保西町内会と中川中央町内会へ実施	実施時期 10月～ 回数 年2回実施

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
乳幼児の歯磨きトレーニング	乳幼児の歯の磨き方がよくわからないと悩んでいる若いお母さま方を対象に、歯磨きの大切さを学習してもらうのと同時に乳幼児には歯磨きは楽しいと歯ブラシに慣れてもらうことを目的として開催	実施時期 1 1月 回数 年 1 回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
登録団体Ⅱに向けた認知症サポーター養成講座	地域住民が趣味活動や地域行事で結びつくだけでなく、支え合う意識をもってもらい認知症への理解を深め、温かく見守り出来るようになることが目標	実施時期 1 1月 回数 年 1 回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
交流会&館内清掃	登録団体へ備品清掃して頂き、みなさんに気持ち良くご利用頂けるようにする。また歓談していただきながら活動紹介も行い交流を深める事を目的とする	実施時期 1 2月 回数 年 1 回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
牛久保町内会防災訓練車イスレクチャー	ケアプラザの普及啓発事業。毎年行っている町内会の防災訓練の企画として搬入方法のひとつである車いす介助についてレクチャーを行う。	実施時期 1 2月 回数 年 1 回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座ミニ健康チェックinフォレストパーク	健康に関する啓発事業を行うことで、健康維持・工場・介護予防を推進していくため、振り返りしやすい下肢筋力に特化して健康チェックを行うことを目的に開催	実施時期 1 0月 回数 年 1 回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座あゆみが丘町内会災害ボランティアきづな	ケアプラザの普及啓発事業として毎年行っている、町内会の防災訓練にそなえ事業周知とあわせ、要援護者の搬入方法のひとつとして車いす介助についてレクチャーを行う	実施時期 1 2月 回数 年 1 回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
Men's倶楽部	認知予防、とじこもり防止、地域の交流の場として男性の方がより参加しやすいよう健康麻雀を取り入れたサロンを提供する事を目的に開催。	実施時期 1 2月～ 回数 毎月 1 回実施

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お菓子作りボランティア講座	お菓子作りをきっかけにボランティア活動につながる方の育成と仲間作りを目的として開催。講座終了後には既存のサロンなどにも活動の場を協力してもらいながら、参加者で自立できるボランティア団体となるよう進めていく	実施時期 1月～ 回数 6回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
普段の生活にちょっとプラスしてみよう	中川地区ヘルスマイトが、横浜市から委託事業として受けた高齢者向けの食事と運動バランスを考えた啓発事業を共催して行う事によって、日ごろのヘルスマイトとの関係作りや、地域に向けた健康維持を促すことを目的として開催	実施時期 1月 回数 1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
目指せ都筑のオセロチャンピオン	都筑区地域活動拠点強化学業での企画 都筑区コミュニティハウスの共催事業に中川チイキケアプラザが参加する。地域施設との連携と、普段利用の少ない小学生保護者への周知を兼ねて開催	実施時期 2月 回数 2回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝会	ケアプラザで活動しているボランティアさんに感謝の意を伝え、ボランティア同士の交流を図り今後の活動に活かしてもらおう事を目的として開催	実施時期 3月 回数 年1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
べてるの家	傾聴ボランティアや精神保健関係機関スタッフ、当事者の家族を対象に、精神障害施設の「べてるの家」の方にその理念と当事者研究の話を聞いて頂き参考にして頂く	実施時期 2月 回数 年1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	介護者同士が話をすることで、介護のストレスを発散でき、悩みや孤独感、不安感の軽減が図れる。介護者の支援、虐待の防止にもつながる。また、介護に関する情報の発信、提供の場とするため開催した。 内容 茶話会を中心に、リラックス法、簡単レシピ、落語会ミニコンサートなどを取り入れて、介護者の交流や支援を行った。	毎月1回 第3火曜日 (8月は第三月曜日、12月は第二火曜日) 年12回実施

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
知って安心講座	一般地域住民向けに、おいへの不安を払拭するため、体が不自由になった時、認知症になった時、お金のこと、住まいのことなど具体的な例をすることによりこれからの人生設計を考える一助にしてもらう。NPO法人人生まると支援三国氏による講義、包括保健師、主任ケアマネジャーによる高齢期のこころと体の変化、介護保険についての講義。ロイヤル入居相談室遠藤による高齢者の住まいの話と施設見学。	5月、6月、9月 3回/年実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症ミニフォーラム	「認知症」や「認知症予防」については毎日のようにテレビや新聞などで取り上げられている。地域の方が、認知症についての正しい知識を得ることで地域や家庭で認知症の方を支えることができるようにする。都筑区認知症サポート医リンクスマENTALクリニック青山先生による講義、認知症の家族を介護された方の体験談を行った。	平成30年3月 年1 回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネサロン	中川圏域で活動しているケアマネジャー同士が連携を取り、スキルアップと意見交換ができる場を設ける。内容として「民生委員との交流会」と事例検討会を4回実施	5月、7月、9月、11 月、3月に実施。年 5回実施。

事業名	目的・内容	実施時期・回数
インフォーマルリスト作成	都筑区内のインフォーマルサービスを共有でき活用できるよう昨年度より冊子化している。今のところ年度末に年一回更新。 1層生活支援コーディネーター、各地域ケアプラザ生活・地域交流コーディネーター・主任ケアマネジャー協働	平成31年 3月 年 1 回発行

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
新任・就労予定 ケアマネジャー 研修フォロー アップ研修	区内5包括共催で、都筑区内で就労中のケアマネジャー（就労1年程度の新任または経験ありの方）がスキルアップと役割を果たしていけるよう知識習得、意見交換や相談できる場を設ける。内容として 1日目区役所行政サービスについて 2日目（講義）ケアプラザについて、訪問介護・定期巡回随時対応型訪問介護看護・看護小規模多機能居宅介護・訪問看護・通所介護・特別養護老人ホーム・介護老人保健施設 施設見学 通所介護 老健 3日目福祉用具・住宅改修について 居宅主任ケアマネジャーとの情報交換会	8月 3日間

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネジャー 向け病院関係者 との情報交換会	区内5包括共催で都筑区内で活動しているケアマネジャーと日頃関りのある病院との情報交換を行うことで、お互いの業務や連携方法の取り方を学び、顔の見える関係作りを通して医療と介護の連携強化につなげる。開催に当たっては各包括主任ケアマネジャーが11病院、1関係機関へ情報収集を行い、「平成30年度 都筑区 ケアマネジャー・病院の連携シート」を作成し当日配布した。	12月 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネジャー 向け」情報交換 会	葛が谷、加賀原地域包括支援センターと共催で施設協力医の協力を得て、ケアマネジャーが医療知識について理解を深める。内容として「訪問診療の実際」「あすなろ整形外科の先生に聞いてみよう」を行った。また通所リハビリテーション事業者との情報交換会を行った	6月 10月 2月 3回/年

平成30年度 自主事業収支報告書

資料4-1

施設名 横浜市中川地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	総経費	自主事業決算額					
			収入			支出		
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
菓子作りボランティア講座	①地域	1796	地活				1796	
	②10人		包括					
	③無料		生活					
親子で楽しむお話タンポポク	①乳幼児親子	1490	地活				1490	
	②30名		包括					
	③なし		生活					
健康麻雀ボランティア会議	①麻雀ボランティア		地活					2253
	②30名		包括					
	③無料		生活					
ゆるし雑を作ってみませんか	①地域	18639	地活	8800			8800	9839
	②30名		包括					
	③400円		生活					
生き生きボディチェック	①概ね55歳以上	11137	地活	9000		11137		
	②40名		包括					
	③500円		生活					
乳幼児救急法	①乳幼児とその親子	4790	地活					4790
	②30名		包括					
	③無料		生活					
1日サークル体験シリーズ ユーコット	①高齢者	2000	地活			2000		
	②20名		包括					
	③300円		生活					
こおじさんの不思議な工芸	①小学生	10401	地活	3600		3341	7060	
	②30名		包括					
	③100円		生活					
版画エコバック	①小学生	9626	地活	4200			9626	
	②20名		包括					
	③200円		生活					
楽しく踊ってみよう 初心者ダンス講座	①小学生	11137	地活	1800		11137		
	②20名		包括					
	③200円		生活					
親子ヨガ ～自然治癒力を高める～	①親子	11137	地活	5100		11137		
	②15組		包括					
	③親子700円		生活					
わが街の博識者シリーズ 中島三郎之介	①地域	5568	地活			5568		
	②30名		包括					
	③無料		生活					
1日サークル体験シリーズ 陰ヨガ	①地域	2000	地活			2000		
	②12名		包括					
	③無料		生活					
1日サークル体験シリーズ ニットサークル	①地域	11696	地活	7300		2000	9696	
	②10名		包括					
	③600円～700円		生活					
大掃除 &交流会	①登録団体	12872	地活				5000	7872
	②50名		包括					
	③無料		生活					
申疾患をもつ方への訪問介護	①精神障害者の支援に関わっている方	5568	地活			5568		
	②30名		包括					
	③無料		生活					
1日サークル体験シリーズ ピンポンクラブ	①地域	2000	地活			2000		
	②10名		包括					
	③無料		生活					

平成30年度 自主事業収支報告書

花粉症にサポート アロマスプレーを作ろう	①地域	3341	地活	4500	3341		
	②15名		包括				
	③300円		生活				
1日サークル体験シリーズ つづきマジッククラブ	①地域住民	2000	地活		2000		
	②10名		包括				
	③無料		生活				
ボランティア感謝会	①登録ボランティア	40956	地活				40956
	②40名		包括				
	③無料		生活				
介護者の集い	①地域	14125	地活		9000		5125
	②134		包括				
	③無料		生活				
ケアマネサロン	①ケアマネジャー	1759	地活				1759
	②35		包括				
	③無料		生活				
地域ケア会議	①地域住民、企業、機関	1271	地活				1271
	②53		包括				
			生活				
ラヂオ体操	①地域住民	30069	地活		30069		
	②168		包括				
	③無料		生活				
美姿勢ウォーキング	①地域住民	88000	地活		88000		
	②162		包括				
	③無料		生活				
口腔機能向上・栄養改善講座	①地域住民	5568	地活		5568		
	②26		包括				
	③無料		生活				
認知症ミニフォーラム	①地域住民	5568	地活		5568		
	②19		包括				
	③無料		生活				
化粧品療法	①地域住民	22888	地活	8000	21600	640	648
	②16/12 計28		包括				
	③500/無料		生活				
		215378					

事業ごとに別紙に記載してください。